

Variety House

～交流の起点となるシェアハウス～



南側立面 (1Fにウッドデッキ 奥にリビング)



北側立面

設計趣旨

世界では人や物、情報の国際的移動が活発化している。秋田でも小・中・高で外国人教師を取り入れた授業や学生が海外研修に行くなど外国人と交流することがあるが、様々な国の文化を交流するには不十分である。

ここは、言語・食・イベントなど様々な文化を交流する日本人学生4人と留学生4人、管理人1人の9人が暮らすシェアハウス。

コミュニケーションを通して言語力を高め、様々な価値観などを知ることができるのではないのだろうか。

建築物概要

1階には住人はもちろん地域の方々とも文化を交流できるように、広めのリビングを設けた。一息したいときなどにはウッドデッキに出てゆっくりするのもいいだろう。

2, 3階には談話コーナーを設け、地域の方々もゆっくり話せる場となっている。

建築面積 132.49㎡

延床面積 331.24㎡

建ぺい率 44.17%

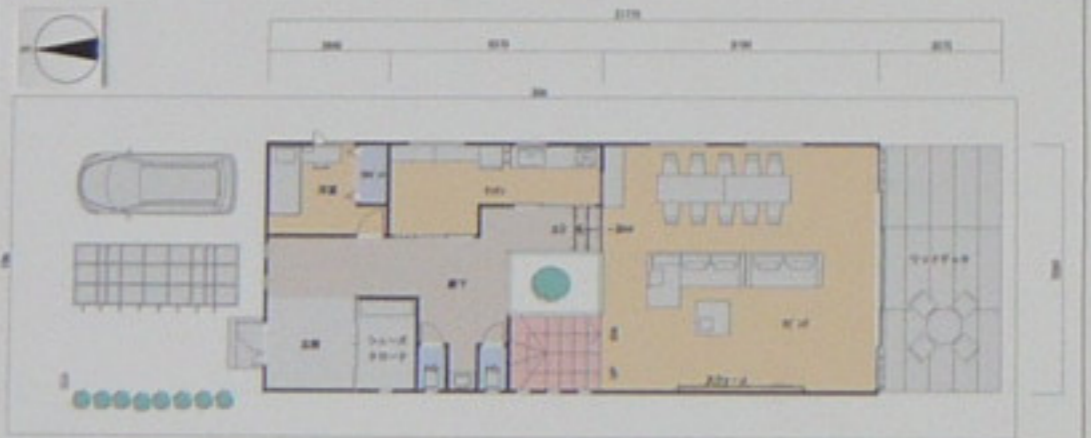
容積率 110.42%



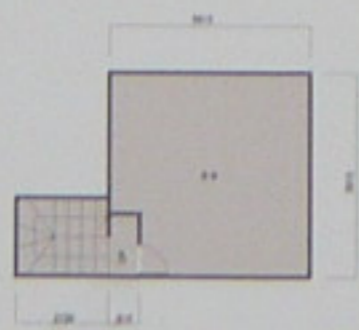
3階 縮尺 1/150



2階 縮尺 1/150



1階 縮尺 1/150



地下1階 縮尺 1/150



2F 談話コーナー(下にリビング 奥にウッドデッキ)



リビングルーム (奥に中庭 2F 談話コーナー)

中庭

家に居ながら自然を感じることができる。また、天窓により、採光を確保でき、家の中が明るくなる。



ウッドデッキ

リビングから直接外に出ることができる。バーベキューをしたり、ゆっくり息抜きをする場所として活用することができる。

地下室

いろいろな国のダンスや歌、遊びを共有する部屋とし、音漏れを気にすることなく楽しい時間を過ごすことができる。

談話コーナー

2, 3階のホールに設け、誰でも気軽にコミュニケーションをとったり、本を読んだりするパブリックなスペースとした。

学習コーナー

居住者同士が学びたいこと、わからないことを共有するスペースとした。

各部屋

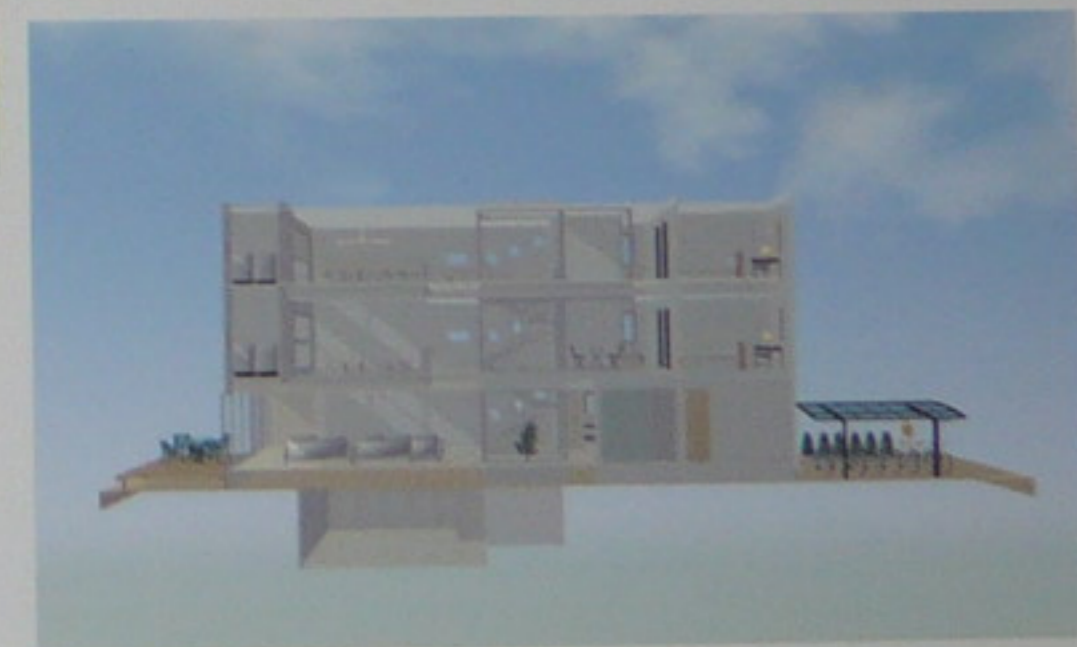
ベッド・机・鏡付きクローゼットを完備し、快適に過ごせる空間。また、2, 3階の北側に居室を集約し、共有空間と個人空間を分離したプライバシーを守ることができる空間となっている。

リビング

居住者だけでなく地域の人が集まることを想定し、広くゆったりできる空間になっている。このシェアハウスのメインとなる場であり、いろいろな国の料理を食べたり、スクリーンで映画を見たりして交流を深められる。

吹き抜け

リビングの上は、3階まで吹き抜けになっており、十分な採光を確保でき、上下階のコミュニケーションをとることが可能。



南北断面図 1/150